

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヤマックス
 コード番号 5285 URL <http://www.yamax.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 茂森 潔
 (氏名) 長岡 純生

TEL 096-381-5871

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,530	△4.6	△69	—	△91	—	△60	—
25年3月期第1四半期	2,651	47.5	△228	—	△254	—	△253	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △68百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △268百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△7.36	—
25年3月期第1四半期	△30.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	11,586	2,093	18.1	255.62
25年3月期	12,297	2,161	17.6	263.99

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 2,093百万円 25年3月期 2,161百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,200	7.6	△120	—	△190	—	△180	—	△21.98
通期	14,500	14.3	420	—	280	—	280	—	34.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	11,580,000 株	25年3月期	11,580,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	3,391,912 株	25年3月期	3,391,912 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	8,188,088 株	25年3月期1Q	8,188,114 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新政権が打ち出した経済政策や日本銀行の金融政策への期待感から円安の進行とともに株価が高騰し、輸出企業を中心とした企業収益状況や個人消費の一部に景気回復傾向がみられました。しかしながら、海外では中国経済の成長が鈍化傾向にあり欧州経済も依然として回復の兆候がみえないなど不安要素がぬぐい去られておらず、実体経済の回復には未だ不透明感が残っております。

当社グループを取り巻く経営環境におきましては、前期末に閣議決定した大型補正予算により東日本大震災の被災地の復旧・復興を柱とした公共投資関連需要が本格的に稼働し始めるであろうことから、今後の国の政策に即応できる体制の構築に努めるとともに、地方自治体においても、防災・減災をテーマとした公共事業への具体策に対し注視が必要であると認識しております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、新たな商圈エリアへの取り組みや現状の課題に対する対処などを骨子として策定した「中期経営計画」に基づき、東日本大震災の被災地に向けたコンクリート製品の供給責任を果たすことを目的とした株式会社東北ヤマックスをはじめとする当社グループの支援体制の確立や、継続的な取り組みである設計営業の強化や土木用大型コンクリート製品の普及推進を掲げ、販売力の強化とシェアの拡大に注力しております。また、長崎県内における土木用セメント製品事業の需要の著しい低迷に対し、生産の集約及び営業の効率化などによる収益の改善を目的として、H. O. C株式会社（長崎県大村市）との共同出資にて土木用コンクリート二次製品の販売事業を営む新会社「株式会社HOCヤマックス」を設立し、同県内における業況への課題対応についても前向きに取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は25億3千万円（前年同期比4.6%減）となり、営業損益は6千9百万円の損失（前年同四半期は2億2千8百万円の損失）、経常損益は9千1百万円の損失（前年同四半期は2億5千4百万円の損失）、四半期純損益は6千万円の損失（前年同四半期は2億5千3百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①土木用セメント製品事業

当第1四半期連結累計期間における土木業界につきましては、前期末に成立した大型補正予算により、東日本大震災の被災地への復興に向けた国の新しい具体的な施策の本格的な稼働が見込まれるとともに、地方自治体においても大型補正予算の大部分が本年度に繰り越され、その執行が本格化しつつあります。

このような状況の中、被災地の復興事業に対しては、国の政策に即応できる体制の構築に努めるとともに、継続的な取り組みである大型コンクリート構造物のプレキャスト化への設計活動を精力的に進め、防災・減災をテーマとした公共事業への具体策を示す地方自治体の動向にも留意し、九州地区における災害復旧事業にも積極的に対応いたしました。

この結果、売上高は18億2千3百万円（前年同期比24.9%増）、営業利益は5千5百万円（前年同四半期は6千1百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの土木用セメント製品事業は、公共事業の発注と関連性があり、主として下半期（第3四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間）に売上が集中するため、通常、第1四半期連結会計期間及び第2四半期連結会計期間の売上高は、他の四半期連結会計期間の売上高と比べて著しく低くなる傾向にあります。

②建築用セメント製品事業

当第1四半期連結累計期間における建築業界につきましては、民間設備投資を主力に緩やかな回復基調にて推移しましたが、関東地区における同業者間の価格競争は幾分緩和傾向にあるものの依然として継続しております。

このような状況の中、設計事務所及びゼネコンに対する設計活動の強化に努め、受注に繋げる営業活動に取り組み、関東地区におけるマンション関連の受注活動は順調に推移したものの、株式会社ミナト建材におけるビル用カーテンウォール等製品並びに九州地区における建築用セメント製品の販売実績は低調な結果となりました。

この結果、売上高は6億3千6百万円（前年同期比44.3%減）、営業利益は3千万円（前年同四半期は3千6百万円の損失）となりました。

③その他の事業

不動産関連事業におきましては、モデルハウスを集客拠点とした自社ブランド「さらりの家」の営業活動の継続により、認知度の高まりとともに受注件数も増加の傾向にあります。また、サービス事業における「エバメール化粧品」を主力とした化粧品・健康補助食品の販売にも注力いたしました。

この結果、売上高は7千万円（前年同期比45.5%増）となりましたが、営業損益は1千8百万円の損失（前年同四半期は1千7百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ7億1千万円減少の115億8千6百万円となりました。これは主に、売上債権の回収などにより受取手形及び売掛金が10億8千4百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ6億4千2百万円減少の94億9千3百万円となりました。これは主に、支払手形の決済や仕入債務の支払いなどにより支払手形及び買掛金が3億1千2百万円減少したことや、借入金の返済により短期借入金及び長期借入金が2億2千万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ6千8百万円減少の20億9千3百万円となりました。これは主に、四半期純損失による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間までの業績は予定通り推移しており、平成25年5月17日付の「平成25年3月期 決算短信」にて発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、当社グループの土木用セメント製品事業は、公共事業の発注と関連性があり、主として下半期（第3四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間）に売上が集中するため、通常、第1四半期連結会計期間及び第2四半期連結会計期間の売上高は、他の四半期連結会計期間の売上高と比べて著しく低くなる傾向にあり、今後も同様の理由により季節的変動が予想されることから、業績を判断する際には留意する必要があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（原価差異の繰延処理）

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	223,153	398,110
受取手形及び売掛金	3,417,176	2,332,255
商品及び製品	1,714,798	1,868,128
未成工事支出金	1,790	56,065
原材料及び貯蔵品	235,952	244,078
その他	102,426	166,842
貸倒引当金	△27,149	△21,646
流動資産合計	5,668,147	5,043,836
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,252,424	1,232,614
土地	3,541,524	3,542,034
その他（純額）	1,040,474	1,034,860
有形固定資産合計	5,834,423	5,809,509
無形固定資産		
投資その他の資産		
その他	802,642	736,386
貸倒引当金	△142,595	△136,956
投資その他の資産合計	660,047	599,430
固定資産合計	6,629,253	6,543,055
資産合計	12,297,400	11,586,892
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,444,111	3,131,474
短期借入金	2,998,582	2,894,717
未払法人税等	22,442	9,547
賞与引当金	55,977	87,114
受注損失引当金	12,036	6,589
その他	619,329	515,993
流動負債合計	7,152,479	6,645,436
固定負債		
長期借入金	2,256,809	2,140,425
退職給付引当金	544,898	532,683
役員退職慰労引当金	67,476	67,513
その他	114,201	107,769
固定負債合計	2,983,386	2,848,392
負債合計	10,135,865	9,493,828

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,752,040	1,752,040
資本剰余金	492,286	492,286
利益剰余金	405,675	345,427
自己株式	△507,862	△507,862
株主資本合計	2,142,139	2,081,892
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,395	11,171
その他の包括利益累計額合計	19,395	11,171
純資産合計	2,161,535	2,093,063
負債純資産合計	12,297,400	11,586,892

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,651,146	2,530,320
売上原価	2,274,041	2,013,805
売上総利益	377,104	516,514
販売費及び一般管理費	605,178	585,878
営業損失(△)	△228,073	△69,364
営業外収益		
受取利息	421	155
受取配当金	3,179	4,088
持分法による投資利益	1,027	—
受取賃貸料	6,380	6,567
貸倒引当金戻入額	125	9,011
その他	5,671	6,651
営業外収益合計	16,805	26,474
営業外費用		
支払利息	35,021	29,742
手形売却損	3,948	5,001
その他	3,791	13,725
営業外費用合計	42,761	48,469
経常損失(△)	△254,029	△91,359
特別利益		
投資有価証券売却益	—	25,772
事業譲渡益	—	8,000
特別利益合計	—	33,772
特別損失		
投資有価証券評価損	671	—
特別損失合計	671	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△254,700	△57,587
法人税、住民税及び事業税	5,175	4,666
法人税等調整額	△6,224	△2,006
法人税等合計	△1,049	2,659
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△253,651	△60,247
四半期純損失(△)	△253,651	△60,247

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△253,651	△60,247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,126	△8,224
その他の包括利益合計	△15,126	△8,224
四半期包括利益	△268,778	△68,471
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△268,778	△68,471

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土木用セメント製品	建築用セメント製品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,460,269	1,142,179	2,602,449	48,696	2,651,146	—	2,651,146
セグメント間の内部売上高又は振替高	539	310	850	430	1,280	△1,280	—
計	1,460,809	1,142,490	2,603,299	49,127	2,652,426	△1,280	2,651,146
セグメント損失	△61,651	△36,519	△98,170	△17,936	△116,106	△111,966	△228,073

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業及びサービス事業を含んでおります。

2. セグメント損失の調整額△111,966千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土木用セメント製品	建築用セメント製品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,823,341	636,127	2,459,468	70,851	2,530,320	—	2,530,320
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	770	770	—	770	△770	—
計	1,823,341	636,897	2,460,238	70,851	2,531,090	△770	2,530,320
セグメント利益又は損失(△)	55,199	30,221	85,420	△18,206	67,213	△136,577	△69,364

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業及びサービス事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△136,577千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。